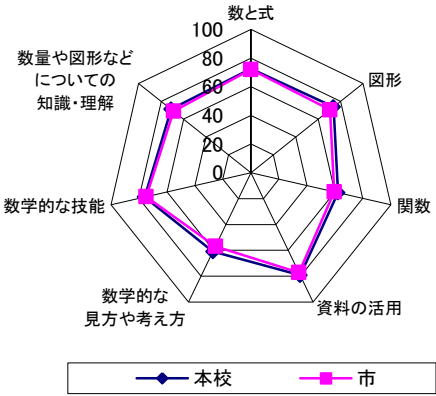


宇都宮市立陽東中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	72.7	72.1	70.7
	図形	73.7	70.5	58.1
	関数	62.2	59.6	52.1
	資料の活用	79.3	77.2	64.1
観点別	数学的な見方や考え方	61.0	56.9	47.7
	数学的な技能	76.0	74.9	69.2
	数量や図形などについての知識・理解	71.1	68.9	59.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(数学では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善 ○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○「1次方程式、2次方程式の計算」においては、市より高く、「2次方程式の計算」では、4.4ポイント高い。また、因数分解を使って解く「2次方程式の解き方を説明する問題」においては、6.8ポイント高い。 ●「累乗を含む正負の数の乗法」では、10.4ポイント低く、調査の中で一番低い。	・基本的な計算はできているが、不注意なミスが見られる。特に、累乗を含む計算に関しては、計算の順番や符号の間違いがあり、基礎、基本の再確認が必要である。 ・計算をして解を求めることはできるが、計算式の意味や計算過程の説明は、38.9ポイントの生徒しかできていない。解を求める学習だけでなく、式の過程を理解する学習も同時に進めていきたい。
図形	○全体的に市より高い結果である。特に、「三角形の合同を証明する問題」では、市よりも6.0ポイント高い。また、相似な図形の「証明の過程における対頂角を指摘する問題」では、4.9ポイント、「証明の結論から辺の長さを求める問題」では、5.1ポイント高い。 ●「三角柱におけるねじれの位置に関する問題」では、市よりも3.1ポイント低い。	・「垂直二等分線の作図」や「平行線の同位角、錯角を用いて角度を求める問題」などは、生徒が好んで学習する内容なので定着度が80ポイント前後と高い。一方、「グラフをもとにして考える速さの問題」など、総合的な問題になると50%前後の理解度まで下がってしまうので、習熟度別学習を活用して、自分なりにじっくり考える学習の時間と考え方を確認し合う学習を進めていきたい。
関数	○「1次関数の式を求める問題」では、市より5.1ポイント高い。また、「文章問題を読み取り、xとyの関係を正しく表すグラフを選ぶ問題」では、2.0ポイント高い。 ●「比例の式に表す問題」では、市より1.2ポイント低い。また、「yはx2乗に比例するグラフでのyの変域を求める」問題では、0.8ポイント低い。	・比例は1次関数の1つであるという理解が不十分である。1次関数を学習しながら比例の復習も行い、関連性について確認していきたい。 ・文章問題を読み取る問題の定着度は39.1%と低く、文章を正しく理解する力が不十分である。解を求める計算だけでなく、文章を読み取る学習、キーワードになる数値をおさえる学習を進めていきたい。
資料の活用	○「度数分布表を読み取る問題」では、市より3.3ポイント高く、定着度は80ポイントであった。また、「確率の問題」では、3.1ポイント高く、75.3ポイントであった。 ●「度数分布表から階級の相対度数求める問題」では、市より1.4ポイント高いが、定着度は68.5ポイントであった。	・確率の授業に興味・関心をもっている生徒が多く、積極的に授業に取り組んでいる。1回目、2回目と順序を考える確率と2人を選ぶような順序を考えない確率の違いについて戸惑っている生徒がいるので、操作などを入れながら丁寧に学習を進めていきたい。 ・「資料の活用」の問題に慣れていない生徒が多いので、初めて聞く用語を確認しながら、多くの類題に取り組みせる学習を進めていきたい。